

平成 29年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：市民総合体育館

指定管理者名：河内長野SSKクリーン工房共同事業体

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	B	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	B	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	B	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	40,000,000	39,607,262	392,738		
	自主事業収入	8,000,000	2,545,880	5,454,120		
	物品販売収入	1,000,000	567,605	432,395		
	手数料収入	0	0	0		
	指定管理料	70,000,000	70,000,000	0		
	その他収入			0		
収入総額		119,000,000	112,720,747	6,279,253	0	
支出	人件費	40,840,000	39,709,508	1,130,492		
	事務費	3,680,000	2,843,243	836,757		
	管理費	29,230,000	37,738,230	(8,508,230)		
	自主事業経費	7,400,000	2,699,824	4,700,176		
	光熱水費	24,540,000	18,548,627	5,991,373		
	リース料	1,000,000	686,756	313,244		
	その他	9,900,000	8,125,445	1,774,555		
	支出総額	116,590,000	110,351,633	6,238,367	0	0
収支差額		2,410,000	2,369,114	40,886	0	0

3. 総合評価

自己評価

90点

平成29年度4月より指定管理業務がスタート。利用者に指定管理者が替わったことを知っていただくために下記の事項を実行しました。

(1) 現行システムの見直し

- ①事務所受付時間の変更⇒4月1日より受付(自動扉前)について、体育館スタッフが21:00まで対応。各施設利用の申込受付時間の変更⇒12月1日より17:30→20:30までに延長しました。
- ②券売機のリニューアル 4月1日より新券売機設置。カテゴリー別に分かり易く配置を変更しました。
- ③スタッフのユニフォームを河内長野市のイメージカラーに一新し、体育館のスタッフらしくイメージチェンジを行いました。

(2) 利用促進施策として

- ①トレーニング室:4月4日より、最新マシンにリニューアル、室内にはテレビ2台とドリンク・荷物置き棚を設置。
- ②トレーニング専任スタッフを配置し、利用者から安心して利用できると好評で、ご夫婦、女性の利用者も増えました。21,260→29,540人
- ③ピクトサインの設置:館内にピクトサインを積極的に取り入れ、子どもからお年寄り、車いすの方まで、誰もが見やすい掲示物の工夫をしています。
- ④熱中症対策:タニタ熱中症指数計3台購入。(有人管理施設に設置)、ミストシャワー設置。(大師総合運動場に設置。次年度赤峰市民広場に設置予定)
- ⑤カップ麺の販売(冬期):近隣にショップがなく、利用者様の声をもとに、下里管理棟にてカップ麺の販売を開始しました。
- ⑥アンケート箱の設置:利用者様から寄せられた意見・要望・苦情等を速やかに現場に反映しています。アンケート内容は近々に施設内に掲示するとともに、ホームページ等で市民の皆様に開示し、円滑な施設運営への理解と協力をお願いしていきます。

(3) 広報活動について

- ①ホームページの開設:最新情報、スクール内容の案内、イベント(自主事業)情報の配信を行っています。
- ②市関連部署との連携
広報への掲載を積極的に行っており、SSK⇄スポーツ振興課⇄総合スポーツ振興会とのトライアングル体制で連携を図っています。

(4) 自主事業について

- ①トレーニング講習会。年18回→24回へ増やす。島田病院から講師派遣を依頼していたが、自前のトレーナーを講師として実施。
- ②トレーニング室では専属トレーナーによるパーソナルトレーニング、会議室では、脳トレ・ストレッチ教室を開催中
- ③下里人工芝グラウンドでは、FC長野様の協力のもとサッカー教室を開催しております。

(5) 第三者業務委託(施設管理・防災・防犯・電気・清掃・警備等)に関して

前年から一部業者を変更しておりますが、利用者の安全管理に気を配り、施設巡回、整備、危険個所の把握、情報収集等に努めています。

(6) 収支面に関して

収入面では、自主事業、物品販売が現状では目標額達成は厳しいですが、利用料金収入増(トレーニング新規利用者確保、施設空き情報開示等)に努める。支出面では、下里グラウンドの施設管理を強化したことにより管理費増となったが、安全管理面が行き届くようになった。それをカバーしたのが、光熱費の削減(関西電力との条件交渉)、修繕費の削減(各施設の専任スタッフによる自前の修理・補修・備品調達等)です。

(6) 事故・苦情・要望等の対応

体育館、大師グラウンドの事故(骨折・捻挫等)で救急搬送を依頼したのが14件。スタッフや関係者の迅速かつ適切な応急処置で問題なく対応出来ました。利用者からの各施設の不具合、修理面の苦情、要望は、出来る限り迅速に当方の熟練スタッフで対応しております。金額の掛かるものは市と相談し対応。

(7) 次年度への課題

今後大きな修繕費が掛かる見込み。施設の老朽化に伴う修理。体育館が平成12年度のリニューアルから18年となり、空調設備の交換部品が調達不可、自動ドア買替、雨漏り対策。荘園庭球場・寺ヶ池野球場の防球ネット劣化等で維持管理費用が増加し続ける中で、サービスを低下することなく、自助努力(自主事業の強化、新規利用者の確保、経費削減等)で管理運営するには限界がある為、将来的に健全運営していくための施策を、市と話し合う必要があります。

市評価

平成29年4月から河内長野市SSKクリーン工房共同事業体による指定管理業務が始まり、窓口の受付時間の延長や接遇研修の実施による利用者の利便性の向上やイメージアップの取り組みを評価している。

また、トレーニング室内の器具の更新を行いトレーナーを常駐させるなどにより、利用者数が前年比約140%と増加を見たが、管理施設トータルの利用者数では少子高齢化や人口減少などの影響による利用者の減少もあり前年比で約97%となった。今後も人口減少の傾向が続くため利用者の減少を魅力ある自主事業の企画により食い止めてもらえるよう期待する。

施設管理について老朽化の著しいなか、修繕については営繕担当職員の創意工夫により迅速に対応してもらった。

その他の修繕や樹木の選定やグラウンド整備について適切な時期に適切に対応してもらった。

運営についても、電気事業者や契約の見直しによる電気代の削減をはじめとする運営の効率化を図ってもらっていることを評価する。

今後、体育館の消防設備をはじめとする大規模な修繕が予想されるなか、市と協力して効率的な運営に民間企業としてのノウハウを生かし、協力してもらうことを期待する。